

金沢国税局の紹介

金沢国税局は北陸3県(富山・石川・福井)を管轄しており、**国税局と15の税務署**で構成されています。

小規模な国税局であるため、**職員の多くが顔見知り**で、和気あいあいとしたアットホームな雰囲気の中で職務に励んでいます。近年では、**職場環境のICT化**を進めており、ライフスタイルやライフステージの変化に合わせて柔軟な働き方がしやすくなっています。

また、職員が子育てとの両立を図りながら、安心して職務に精励できるよう、育児休業の推進等各種の施策を実施しており、男性も女性も子育てをしながら働きやすい職場です。

国家公務員ということで、全国的な転勤があると思われがちですが、転勤の範囲は原則として北陸3県内です。多くの職員が、富山市・金沢市・福井市の各県庁所在地にある税務署と自宅近隣の税務署に勤務しており、自宅から通勤できています。



[所在地] 金沢市広坂2-2-60 金沢広坂合同庁舎内
[職員数] 職員数は約1,400人
(女性割合：全体で約3割、40歳以下約4割)
[管轄] 富山県 石川県 福井県

国民の安心と信頼につながる仕事！ ～税のスペシャリストとして～

国税調査官

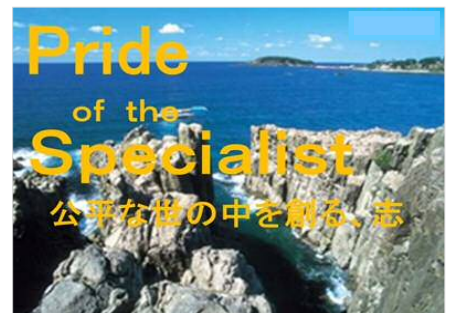
提出された確定申告書等について、適正な申告が行われたかどうかの調査や申告に関する指導などを行います。

国税徴収官

納期限までに納付されない税金の督促や滞納処分を行って、税金を徴収するほか納税に関する指導などを行います。

国税査察官

裁判官から許可状を得て、悪質な脱税者に対して捜索や差押えなどの強制調査を行い、刑事罰を求めるため検察官に告発します。



先輩からの メッセージ

ホームページも是非、ご覧ください。



切磋琢磨しながら専門的な知識を習得できます!

【研修】

採用時の基礎研修では、税法の読み方や税務の基礎を学ぶことができ、知識のない状態からのスタートでも心配ありません。

実務を経験した後の専科研修では、実際の裁判例などを基にして全国の同期と議論を行い、より専門的で実務に沿った内容を学べます。

配属先でも、先輩後輩たちと、自分の知識や経験を使って助け合いながら仕事ができています。



責任感を持って調査・徴収を行います!



【仕事の内容】

調査・徴収という強い権限の下で仕事をしているという責任を負う反面、やり遂げた時の達成感は大きいです。

納税に対して誠意のない方への対応について、苦勞することもあります。納税の必要性を粘り強く説明した結果、「税金のおかげで無事に生活できていることが分かった」と納税への意識が変わった瞬間に大きなやりがいを感じます。


Web-TAX-TV
国税専門官の仕事ドラマ仕立てで紹介します!!



業務説明会

国税専門官の職場の魅力を伝えるため、各種業務説明会を開催しています!

スケジュールは金沢国税局ホームページにてお知らせします!



check!

他の公務員とどこが違うの?

【仕事内容】

公務員は、一日中、書類整理などのデスクワークをしているというイメージを持たれている方も多いかも知れませんが、調査・徴収といった外に出る仕事を中心のアクティブな仕事です。

【配属・転勤】

金沢国税局管内（富山県・石川県・福井県）の税務署に配属され、2～3年ごとに転勤があります。

【研修制度】

採用後すぐに、3か月間の基礎研修を受講します。

さらに、専門分野の知識を深めるため、1か月間の研修を受講します。

その後税務署に配属され、実務を経験した後は、さらに7か月間の研修を受講します。

【給与】

高度な専門的知識・技能を必要としますので、他の国家公務員より優遇されています。

(例) 初任給 国税専門官[251,700円] 国家一般職[220,000円] **差額 31,700円**

国税専門官として働くことの魅力

税は、経済や社会と密接に関係しています。

グローバル化、ICT化等、税務行政を取り巻く環境が絶えず変化し続けている中で、答えの用意されていない様々な問題に対して、それを解決していく、すなわち解を創っていくことが国税庁の仕事です。

我々は、不正を許さないという「使命感」を持って調査・徴収を行います。

我々の仕事は、日本を根底から支える仕事であり、公務員は安定しているからという気持ち以上に、日本という国のあり方を考え、支えていきたいという方は、ぜひ国税庁の扉を開いてみてください。